

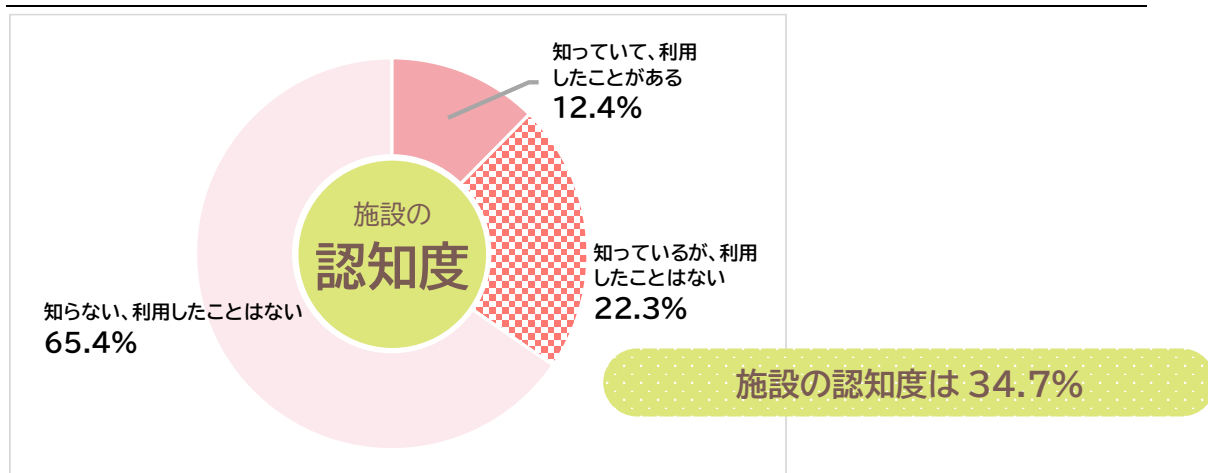
令和 7 年度 生涯学習に関する意識調査結果

1. 調 査 者 静岡市葵生涯学習センター(指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団)
2. 調 査 の 目 的 市内の高等学校に通学する生徒を対象に生涯学習に関する意識調査を実施し、生涯学習活動の実態やニーズの調査を行う。
3. 調 査 対 象 市内の高校に通う生徒
4. 調査実施期間 令和 7 年 9 月 9 日～11 月 30 日
5. 回 答 方 法 Google フォームから回答する。
6. 回 答 状 況 有効回答数 4,862 件
7. 調査結果の表示方法 調査結果は、有効回答者数を基数とした百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。
複数回答が可能な設問の場合、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

調査結果

本調査により、高校生の生涯学習センターや生涯学習に対する考え方やニーズを把握することができた。調査の結果、生涯学習センターの認知度・利用度ともに低く、全体の 65.4%がセンターを「知らない」と回答した。自由回答に寄せられた意見では「何をする施設かわからない」「利用の仕方がわからない」等の意見が寄せられた。昨年度に実施した市民対象(全世代)の生涯学習に関する意識調査においても同様の結果が得られており、「施設の周知」がセンターの課題であることが改めて明らかとなった。今年度初の試みとして実施した「夏の自習室」に関連した設問では 8 割弱の生徒から肯定的な回答が得られた。施設利用や講座参加といったセンターの事業に対する意見とは対照的な結果であり、生徒が自身にとって身近で具体的にイメージできる取組については肯定的に捉えられている様子がうかがえた。また情報の受け取り方については SNS が最も支持を集めたが、「学校を通じた案内(チラシ等)」も同様に高い支持を集めており、学校と連携した広報活動と SNS を併用するなど、双方を効果的に活用した情報発信の方法を検討していく必要がある。各項目の詳細は次のとおり。

Q1 あなたは静岡市生涯学習センターを1つでも知っていますか。また、利用したことはありますか。1つだけチェックしてください。

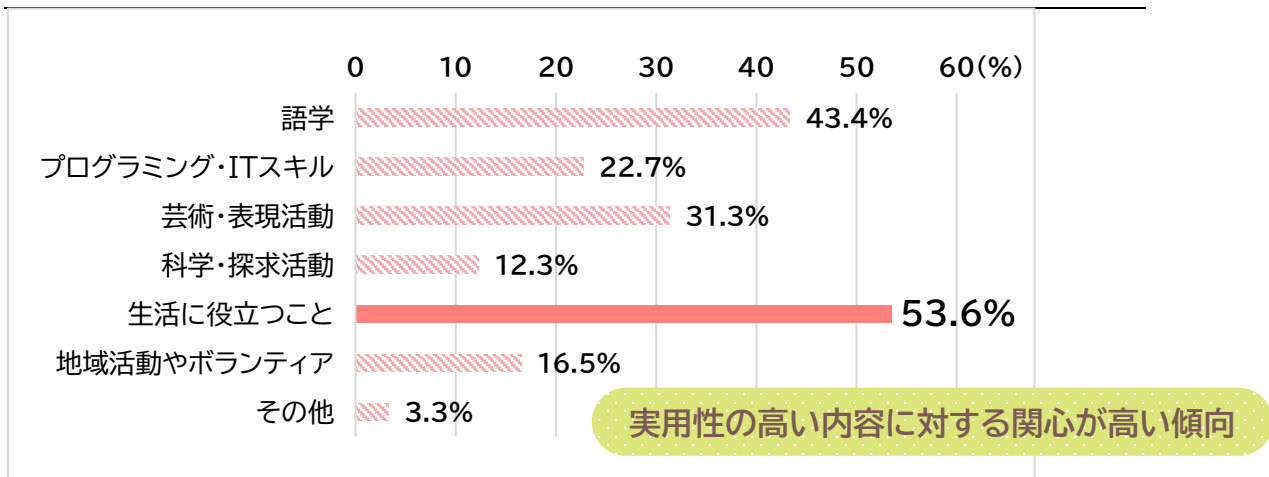


65.4%(3,178人)の生徒が「知らない、利用したことはない」と回答しており、生涯学習センターが高校生に認知・利用されていないことが明らかとなった。

「知っていて、利用したことがある」と回答した生徒数は12.4%(602人)にとどまった。

今年度新規事業として高校生対象の「夏の自習室」を開室し、好評を得たものの、センター全体の認知度及び利用度の向上は限定的であったと考えられる。

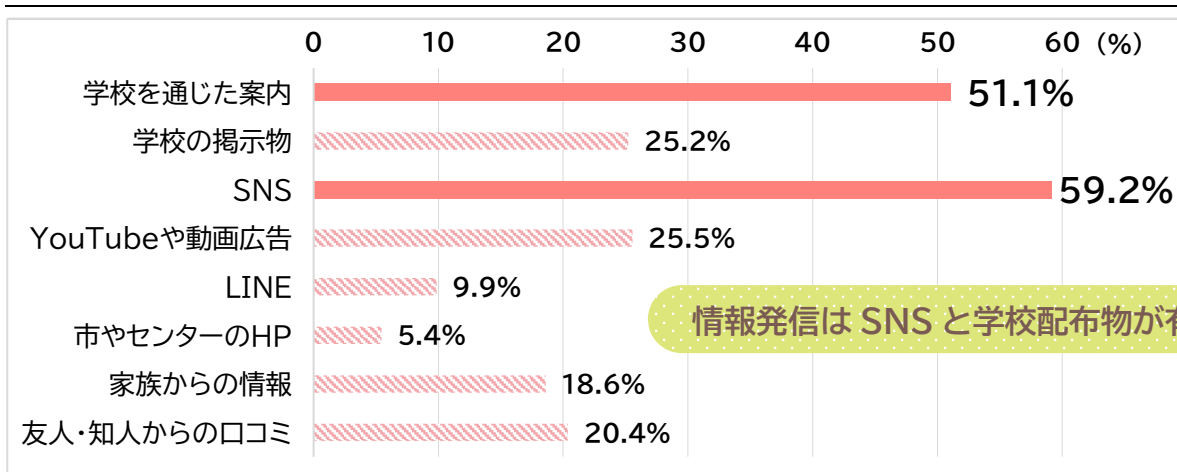
Q2 学校の勉強以外で、これから学んでみたいことや挑戦してみたいことはありますか？



高校生の興味・関心に関する設問では、学習的な内容から体験的な内容まで幅広い選択肢を設定した。回答数が最も多かったのは「生活に役立つこと(料理、お金の知識、マナーなど)」53.6%であった。この結果から高校生は将来の自立した生活を見据えていること、学校で学ぶ機会の少ない「生活に役立つスキル」に関心があることがうかがえる。

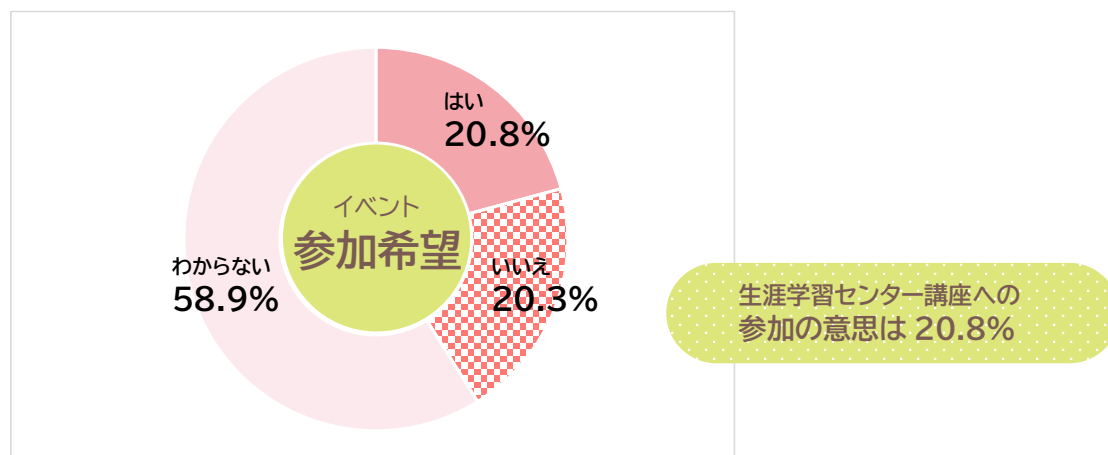
Q3 生涯学習センターではいろいろなことが学べるイベントを開催しています。

どのような広報の方法であれば、あなたにとって見やすく、情報を受け取りやすいでしょうか。
(複数選択可)



イベントの情報源については、SNS が 59.2%と最も多い一方で、学校を通じた案内(チラシ等)も 51.1%と僅差であった。このことから、学校を通じた配布などの受動的な広報手法により、講座や施設の認知度向上が期待される。

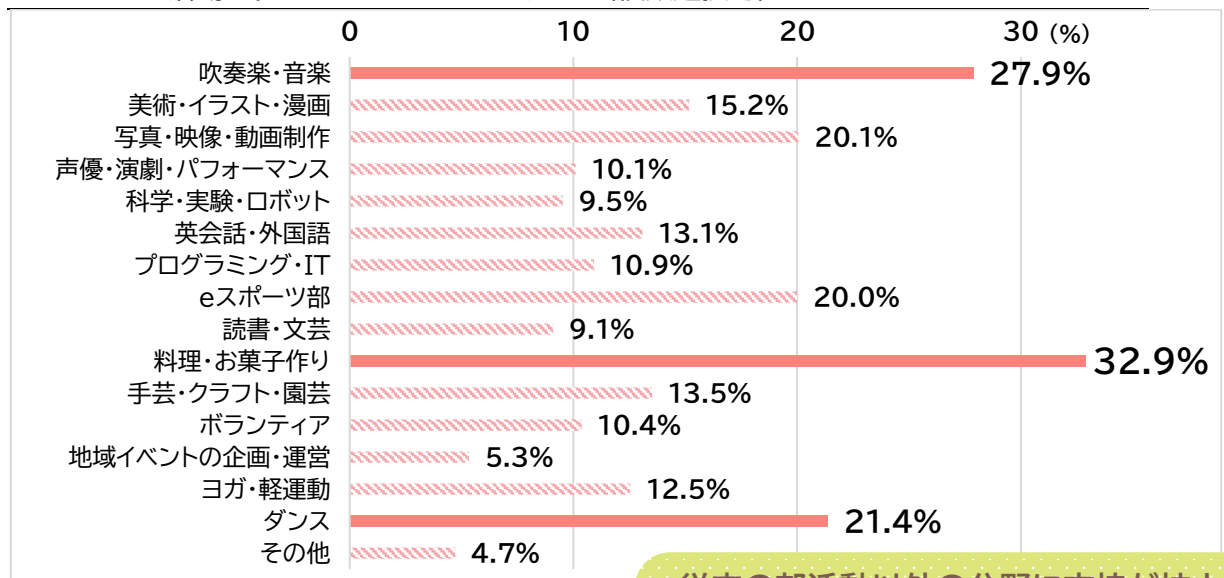
Q4 生涯学習センターで高校生対象のイベントがあった場合、参加してみたいと思いますか？



設問に対し「はい」と肯定的な回答は 20.8%にとどまり、「わからない」の回答が約6割を占める結果となった。

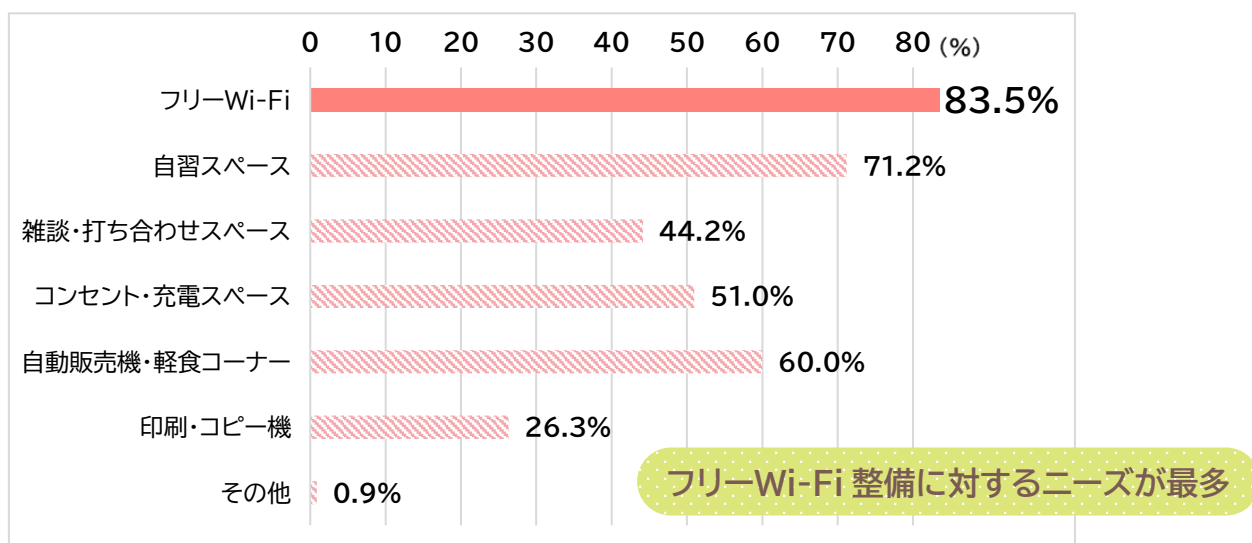
消極的な回答が多かった要因としては「生涯学習センターは何をしたらかわからない」「自分に関わりのない施設」といった自由記述を中心に示されているように、高校生にとって生涯学習センターが身近な施設として認識されていないことが結果として反映されたと推察される。

Q5 最近、中学校の部活動は減ってきており、代わりに地域で活動できる「地域クラブ活動」が広がっています。生涯学習センターでも、こうした地域クラブ活動を検討しています。もし中学生のときに、学校の部活とは別に自由に参加できるクラブがあったとしたら、どんな活動に参加してみたかったですか？（複数選択可）



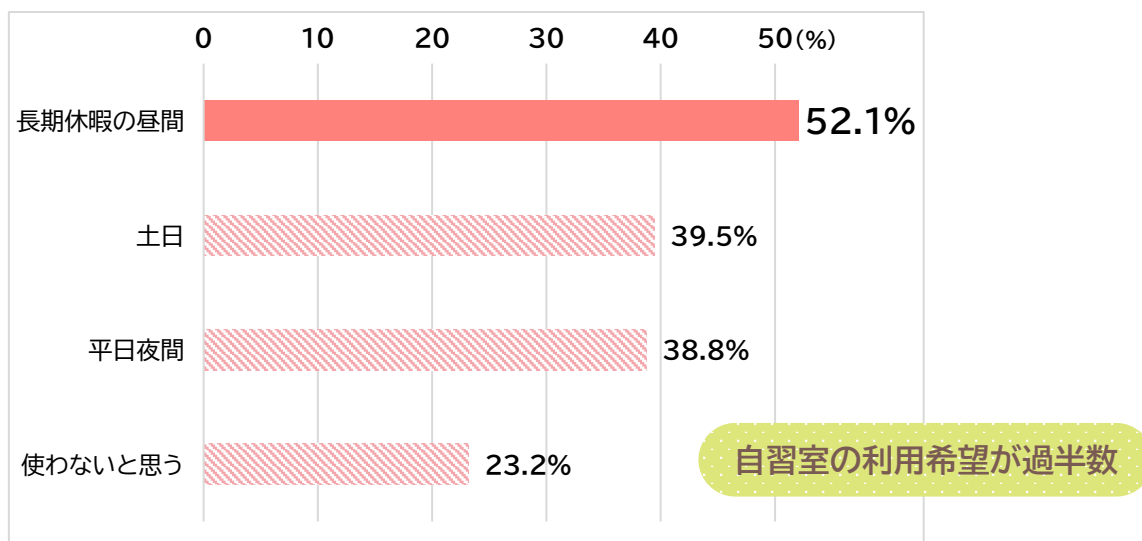
令和 9 年度から開始予定の地域クラブ活動を念頭におき、中学生の時に取り組んでみたかった活動について調査した。「料理・お菓子作り」が 32.9%と最も支持を集めた。Q2の結果である「生活に役立つこと」への関心が Q5の回答へ反映された可能性がある。2番目に支持を集めていた項目は「吹奏楽・音楽」であり、部活としては定番といわれるものだった。3番目に支持を集めていた項目は「ダンス(HIPHOP、K-POP)」「写真・映像・動画制作」「e スポーツ」が 20%前後でほぼ横並びだった。静岡市の従来の部活動だけでなく、現在の生徒のニーズが反映された結果と考えられる。

Q6 生涯学習センターで利用できると嬉しいサービスはどれですか？(複数選択可)



「フリーWi-Fi」との回答が 83.5%と最も多かった。「自習スペース」が 71.2%と続いている。今後の施設環境の整備や運営の参考としたい。

Q7 生涯学習センターで「自習室」を利用できるとしたら、あなたは使いたいですか？ また、使うとしたらどの時間帯がよいですか？(複数選択可)



自主学習を支援する学習環境の在り方について把握することを目的としたものである。回答の結果、「長期休みの昼間」の利用希望が最多となり、半数以上が肯定的な考え方を示した。自習室は日常生活との関連性が高いことから、Q4 と比べて関心が示されやすかった可能性がある。

自由記述についてまとめ

自由記述には計 348 件の意見が寄せられた。特に記述が多かった意見は下記の5つであった。記載があった意見を一部抜粋して掲載する。

① 講座・イベントについての意見(108 件)

- 大人向けや小学生向けのイベント、講座が多い気がするので中高生向けのものも開催してくれると参加しやすい。
- お年寄りが行く場所だと思っていたので、学生向けの楽しいイベントが開催されていたら参加しやすい気がする。
- 中高生に向けた勉強法を教えていただけるイベントなどがあつたらいいなと思いました。

② 自習室に関する意見(84 件)

- 自習室ぜひ使いたいです。生涯学習センターについて知らない現状にあるので広報活動を頑張ってもらいたい。
- 勉強する場所が図書館だけだと限られているので自習する場所を作っていただけたらとても嬉しいです。

③ 生涯学習センターの雰囲気、施設に対するイメージ(50 件)

- 高齢者が多いイメージがあり、入りづらいところが改善されてほしい。
- 児童館より堅いイメージがあって行きづらいから、行きやすいイメージづくりをして欲しい。
- 私の近所にある生涯学習センターはイベントに使われてる印象しかなくて、それ以外の用事に入るとなると少し勇気がいるから、もっと親しみやすい日常的活動が増えたら嬉しいなと思います。

④ 生涯学習センター自体や実施している事業の広報活動に関する意見(47 件)

- 聞いたことがあるだけでどのようなものかを存じ上げないため、広報が充実して情報が入ってくると参加しやすいと思う。
- SNS を使って宣伝して私達にとってより使いやすくなるようにしてほしい。

⑤ 生涯学習センターの認知度の低さに関する意見(37 件)

- 何をしているところなのかよく知らなかったなので基本情報をアピールすると思いました。
- 私は生涯学習センターというものを知らなかったのもっと有名にして使いやすい雰囲気にしてほしいと思った。
- そもそも存在を知らなかったのもっと認知度を上げる活動をした方がいいと思う。

⑥ その他(22 件)